談話室

国際協同組合年に向けて
―協同組合企業はよりよい世界をつくる―

国連総会は，2012年を「国際協同組合年」とする総会宣言を採択しました。国連総会は，協同組合が特に貧困の削減，雇用創出，社会の統合に影響を及ぼしていることを認め，協同組合の社会経済発展に対する貢献を強調しています。国際協同組合年の主な目的は，協同組合そのものと，その社会経済発展への貢献について国民の意識を高め，各国政府が協同組合の設立，成長，安定につながる政策や法律，規制を確立するよう促進することです。

国際協同組合年は，世界中の協同組合セクターにとって，そして特に協同組合銀行にとっては大きな好機です。最初の協同組合の設立から１世紀以上が経過しましたが，一般の人々や，政策決定者，規制決定者が協同組合のビジネスモデルを十分理解しているとはいえません。したがって，協同組合は事業ベースの成功した価値観なのだと指摘したり，協同組合は民間企業であること，例えば，財やサービスの創造に価値を付け加えるために資源を利用する組織なのだということを説明したりすることは，依然として意味のあることです。協同組合の特別な価値は，長期的に関係性を築いて維持する特性に基づいていることを教えることも重要です。コーポレートガバナンスもまた協同組合の優れた特徴です。主要な原則である「一人一票」は「一株一票」の原則とは正反対であり，協同組合では各組合員は出資数に関係なく等しい投票権を持つのです。

政府と共同して，21世紀の協同組合にとってのリスクと好機について意見交換をする場を，国際協同組合年は提供するでしょう。いくつかの国，そして国連のレベルでは，手頃な資金への容易なアクセス，持続可能な生産技術の採用，マーケティングメカニズムの強化や経済活動における女性の参加への支援を通じた農業協同組合の成長についての議論が行われています。

国際協同組合年を契機に，法制はすべての種類の事業モデルに適合することはできないということを規制者に納得させなければなりません。そして多様性が促進されるべきです。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。

農林中金総合研究所
http://www.nochuri.co.jp/

協同組合という形態は，固有の強みと弱みを有しつつも，近代経済に適合し続けています。金融・経済危機によって，事業を遂行する方法や企業の社会的責任，特に金融・銀行産業における社会的責任について，多くの問題が提起されました。協同組合銀行は回復力があり堅固な金融機関であり，資本水準が高い一方で，過剰なリスクをとろうとするインセンティブが相対的に低いのです。そして，効率的なネットワークによる協同が，欧州，カナダ，日本における協同組合銀行の成功要因のひとつになっています。

国際協同組合年は，協同組合のビジネスモデルの連帯，自己統治，自助について立証する世界的なイベントです。先進国経済にとって，また新興国や発展途上国において，危機への解決策あるいは出口としてこうした価値感を奨励することは時宜にかなっています。危機によって，新しい考え方が活気づきますが，同時に既存の考え方が発展し，古い考え方も復活しています。それほど複雑でないモデルや，より保守的なモデルへの回帰を求める声が大きくなっています。

協同組合銀行は，貧困や金融排除と闘うために設立されてきました。不幸なことに，その闘いはまだ終わっていません。協同組合セクター，政府，そして国連は，多くの人々の状況を改善するために，協同組合の活動に参加し，協働するでしょう。国際協同組合年は，行動すること，そして協同組合と協同組合銀行の貢献を示すための強いインセンティブとなります。

欧州協同組合銀行協会は，既に，欧州レベル，そして国際レベルでの2012年の取組みを計画しています。2012年の春には，第５回の協同組合銀行会議をブリュッセルで，そして10月にはカナダのデジャルダン・グループとともに国際協同組合サミットを開催する予定です。これらの取組みは，国際協同組合年というイベントを成功させるために，協同組合銀行が積極的に関与し支援していることを示すものになるでしょう。

国際協同組合年というイベントを成功させましょう。

（欧州協同組合銀行協会(European Association of Co-operative Banks:EACB)
事務局長　エルベ・ギデ（Hervé Guider））

（本稿は，（株）農林中金総合研究所の責任において翻訳したものである。）

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。
農林中金総合研究所
http://www.nochuri.co.jp/